

日中韓財務大臣会合共同メッセージ
2008 年 11 月 14 日 米・ワシントン DC

日本、中国、韓国の財務大臣は、金融市場や実体経済が重大な課題に直面する中で、2008 年 11 月 14 日、米・ワシントン DC において非公式財務大臣会合を開催した。我々は、経済・金融の現状をレビューし、現下の危機の原因と動向、及び実体経済への影響について意見交換した。我々は、世界的な金融危機に効果的に対応するためには、三か国間の協力強化が重要であるとの見解で一致した。

堅固な経済ファンダメンタルズや健全な金融セクターを享受してきたアジア経済は、経済成長の減速や金融市場の変動といった課題に直面している。我々は、世界的な金融市場の変動のもたらす悪影響や、世界経済の更なる減速のリスクに十分対応可能であるべきとの認識を共有した。我々はまた、日中韓三か国が、地域の経済・金融の安定の維持に極めて重要な役割を果たすべきであり、これはアジア地域のみならず世界経済全体にも貢献するとの点で一致した。

これに関し、我々は、これまでの三か国の政策対応を歓迎するとともに、必要かつ適切な場合にはマクロ経済政策及び金融安定化のための措置を実施し、三か国間の政策対話を強化するとの我々の強いコミットメントを改めて表明した。我々は、日中韓の金融協力の強化が必要であると確信している。我々は、日中韓の二国間スワップ取極の規模の拡大について検討することで一致した。

我々はまた、マクロ経済や金融の安定化を担う当局が、緊密にコミュニケーションを行う必要性を強調した。この点に関し、我々は、本年 11 月 26 日に東京で開催予定のマクロ経済・金融安定化ワークショップについて、日中韓の財務省・中央銀行・金融監督当局間で意見交換を行う絶好の機会として、その重要性を再確認した。我々は、第一回会合の結果を踏まえ、ワークショップの役割をさらに強化する方策について検討する。

我々は、地域協力を一層強化していくことの重要性を強調し、チェンマイ・イニシアティブのマルチ化（CMIM）を最優先の課題とし、そのプロセスを加速するため ASEAN+3 のメンバーと共に取り組んでいくとの決意を表明した。我々は、CMIM の全ての要素についてコンセンサスが得られるよう努力していくことで合意した。我々は、地域の経済や金融市場を効果的にモニタリングするため、地域のサーベイランス・メカニズムの強化策に関する検討を求めた。

我々は、現在の世界的な課題は、先進国と途上国が一致して努力することにより有効に解決され、また、世界的な協力体制の中で、三か国が積極的な役割を果たし緊密に協力することが重要であると信ずる。我々はまた、国際金融機関や金融安定化フォーラムについて、変わり行く世界経済の状況や将来の課題によりの確に対応できるよう改革していくことが必要であると合意した。我々は、現下の金融の混乱がもたらす課題に対応するにあたって、これらが重要な役割を果たすことを確認した。アジア開発銀行（ADB）が、アジアにおいてその役割を果たすための適切な資本基盤を有するよう、ADB の第 5 次増資に関し早期に合意が得られることを求めた。

我々は、これまでの三か国間の協力の実績や本会合における実り多い成果を多とし、三か国の財務大臣プロセスが、より良い対話と協力のために引き続き有効に機能するとの見解で一致した。